

コード	302021101
記入日	H24.6.8

課コード	112
課名	こども課
課長名	荒木 宣貴
担当者	野中 絵理子

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	母子寡婦福祉会補助事業
----------	-------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	302	施策名称	協力し支えあう地域福祉の推進	項コード	2
基本事業コード	30202	基本事業名称	地域福祉推進体制の整備	目コード	1
事務事業コード	3020211	事務事業名称	母子会補助事業費	細目コード	257
関連計画	次世代育成支援地域行動計画		法令・条例規則等	新上五島町補助金等交付規則	

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 母子寡婦		(対象指標1) 会員世帯数	218世帯				
(対象2)		(対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
*****	・母子寡婦福祉会の活動支援のため補助金を交付した。	*****	*****	*****	補助金交付件数÷	*****	
		補助金交付件数	1件	100%	補助金交付予定件数	平成23年度	
		① (達成率分析)	予定どおり申請により補助金を交付した。				
		② (達成率分析)					
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
・母子・寡婦家庭の生活の安定と福祉の向上を図るため、長崎県母子寡婦福祉連合会を上部団体として連携し、会員相互で協議研究・研修を行っている為、運営費用を助成する。		*****	*****	*****	会員世帯数÷	*****	
		会員数	218世帯	98.2%	前年度会員世帯数	平成23年度	
		① (達成率分析)	高齢者の寡婦においては、ある程度の新規加入もあるが、若年層の母子家庭においては、仕事との両立に困難を感じる。会員になってもメリットが無いなどの理由で加入がなく、会員数が伸び悩んでいる状況にある。				
		*****	*****	*****	研修会等実施回数÷	*****	
		② (達成率分析)	研究・研修会等	11回	100%	研修会等計画回数	平成23年度
			当初予定どおり上部団体と連携しつつ、会員相互の研究・研修を行った。				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	7	7	6	1	1					
	②										
成果指標	① 人	1,865	1,865	1,647	218	218					
	② 回	69	69	58	11	11					
総事業費 C (A+B)	千円	5,065	5,065	4,362	703	703					
直接事業費 A	千円	5,065	5,065	4,362	703	703					
人件費 B	千円										
内訳	従事職員数	人									
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	5,065	5,065	4,362	703	703					

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理 由	母子・寡婦世帯の自立支援のため、国・県が様々な支援等を講じている中で、町としても自立の為に活動源の援助は必要である。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理 由	各研修を重ね、母子相談員や若年リーダーの育成、地域でのボランティア活動など会員の研鑽を積んでいる。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理 由	児童扶養手当認定請求受付の際など、福祉事務所との連携によりアンケートを実施し、本団体の紹介をするなど会員の増加を図っている。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理 由	収支決算報告内容により、効率よく事業運営がなされているように思う。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	● 代えられる ● 代えられない	理 由	最小限の経費で事業を実施しているため、代えられない。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2 次 評 価	母子・寡婦家庭の生活の安定と福祉の向上を図るため県等と連携して支援してください。
----------------------------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。